

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : チチブエースボンド
会社名 : 秩父コンクリート工業株式会社
住所 : 東京都台東区上野 7-7-6
担当部門 : 営業本部
電話 : 03-3844-5062
FAX : 03-3844-5087
緊急連絡先 : 品質保証部 048-521-2790
推奨用途 : セメントモルタル混和用
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない
	水生環境有害性 短期（急性）	区分 3

※上記で記載がない危険有害性は、分類できないか区分に該当しない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	水生生物に有害
注意書き	
《安全対策》	環境への放出を避けること。
《応急措置》	なし
《保管》	凍結や高温は避け、5℃～35℃の屋内で保管すること。
《廃棄》	内容物／容器を、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。 残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。 残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : アクリル系共重合体エマルジョン
成分及び濃度又は濃度範囲

成分	含有量 (%)	化審法No.	CAS No.
アクリル共重合体	40～50	既存	非公開
ポリ（オキシエチレン）アルキルエーテル	1～5	既存	9002-92-0
メタクリル酸メチル	<0.2	既存	80-62-6
その他	0.0～1.0	既存	非公開
水	50～60	既存	—

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合 : 付着した衣服・靴を脱ぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄すること。
炎症が出た場合は、直ちに医師の診察を受けること。
眼に入った場合 : 清浄な水で 15 分以上洗眼し、眼科医の診察を受けること。
飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診察を受けること。
無理に吐き出させないようにすること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂、強化液
使ってはならない消火剤 : 特になし
火災時の特有の危険有害性 : データなし
特有の消火方法 : 火元の燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火すること。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却すること。
消火作業は風上から行うこと。
消火活動を行う者の特別な : 保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒
保護具及び予防措置 : マスク等の保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
・作業の際には長靴、手袋、保護眼鏡等の保護具を着用すること。
環境に対する注意事項
・河川、湖沼等に流入すると広範囲に渡り白濁させる。
・河川、湖沼等の公共水域への流入は絶対に避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
・少量漏洩時は、布・紙ウエス・おが屑・砂等に吸収させて回収すること。
・大量漏洩時は、流路を毛布・土嚢・土塁等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げること。
・河川、湖沼等に流入した場合は必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡を取ること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 漏洩を防止すること。
取扱いは、換気の良い場所で行うこと。
スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか
保護マスクを着用すること。
眼・皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋等の保護具
を着用すること。
水禁忌物質との接触を避けること。
衛生対策 : データなし
保管
安全な保管条件 : 容器は密栓し、凍結・直射日光を避け、屋内で保管すること。
貯蔵温度は5～35℃が好ましく、温度変化の大きい屋外は避けること。
皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵すること。
安全な容器包装材料 : 容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度等
管理濃度 : 該当成分なし
設備対策
・蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置等の排気のための装置を設置すること。
・作業場には洗眼器を設置すること。
保護具
呼吸用保護具 : 状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。
防毒マスクは、日本産業規格(JIS T8152)に適合した、作業に適した
性能及び構造のものを選ぶ。その際、取扱説明書等に記載されて
いるデータを参考にする。
手の保護具 : 状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
眼、顔面の保護具 : 状況に応じ、保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 水性液体
色 : 乳白色
臭い : ほとんどなし

融点/凝固点	: 約 0°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 約 100°C
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 5.5~6.5
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水と任意の割合で混合可能
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び ρ 又は相対密度	: 約 1.0
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取り扱い条件では反応性はない。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 水禁忌物質との接触
混触危険物質	: 水禁忌物質
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 混合物の急性毒性推定値は 2000mg/kg 以上。
急性毒性（経皮）	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
急性毒性（気体）	: 本製品は常温で液体のため分類対象外。
急性毒性（吸入；蒸気）	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
急性毒性（吸入；粉じん、ミスト）	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	: 混合物の皮膚腐食性区分 2 以上に該当する成分濃度は 1%未満。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	: 混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。
皮膚感作性	: 混合物の皮膚感作性データが不十分のため、分類できない。
生殖細胞変異原性	: 混合物の生殖細胞変異原性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.1%未満。
発がん性	: 混合物の発がん性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.1%未満。
生殖毒性	: 混合物の生殖毒性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.3%未満。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 混合物の特定標的臓器毒性（単回ばく露）データが不十分のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 混合物の特定標的臓器毒性（反復ばく露）データが不十分のため、分類できない。
誤えん有害性	: 製品の 40°Cでの動粘性率が 20.5 mPa·s 以上のため、分類対象外。
その他	: 刺激性（皮膚、眼）；皮膚に付着したままにすると炎症を起こす場合がある。 蒸気を吸引すると、頭痛を起こす場合がある。 成分の急性毒性；メタクリル酸メチル LD50 7900mg/kg（ラット）

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 混合物の水生環境有害性 短期（急性）区分 3 に該当する成分濃度が 25%以上あるため、区分 3 に相当。
水生環境有害性 長期（慢性）	: 混合物として GHS 判定上分類できない。
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- ・廃棄は原則として焼却すること。そのままの状態では絶対に廃棄しないこと。
- ・廃棄は許可を得た産業廃棄物処理業者に委託すること。
- ・洗浄水等の排水は凝集沈殿、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出すること。
- ・内容物を完全に除いたあと処分すること。
- ・処理は法規の規定に従って行うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当
品名（国連輸送品） : 非該当
国連分類 : 非該当
容器等級 : 非該当
海洋汚染物質 : データなし

MARPOL73/78 付属書Ⅱ及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : データなし

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 :

- ・「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
- ・その他、消防法、船舶安全法などの法令に定めるところに従うこと。
- ・容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

応急措置指針番号 : データなし

15. 適用法令

消防法 : 非該当
毒物劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : (表示対象物) 非該当
(通知対象物) メタクリル酸メチル
(特化則) 非該当
(有機則) 非該当
PRTR 法 : (第1種指定化学物質) ポリ(オキシエチレン)アルキルエーテル
(第2種指定化学物質) 非該当

16. その他の情報

引用文献

- ・一般社団法人日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果データベース
- ・原材料 SDS

※ 注意

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる事が必要である事を理解した上で、活用されるようお願いいたします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改定されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは、安全の保証書ではありません。

以上